

1

地質と地形

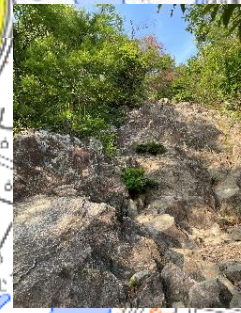
凝灰岩（龍ノ口八幡宮側）は尖った形をしているのに対して、堆積岩（山頂側）は緩やかな形になっている。地質の違いから風化のしやすさが変わり、地形に表れている。



1

岩場の急斜面

段原ルートのはほとんどは凝灰岩の岩場になっており、急斜面も多い。過去に滑落事故も発生しており、岡山市からも注意喚起がなされている。



2

流理構造

流理構造とは溶岩が固まる時に流動してできる縞状の模様のマグマは粘性が高く、流理こと流紋岩のもととなる構造が現れやすい



- 凝灰岩
- 凝灰角礫岩
- 流紋岩
- 砂岩
- 泥岩
- 砂岩ホルンフェルス
- 泥岩ホルンフェルス
- 花崗岩
- 斑岩
- 登り口

凝灰岩

斑岩

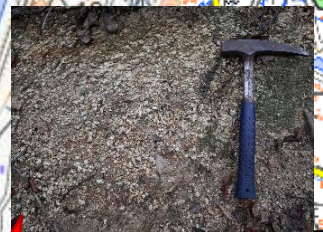
堆積岩 (砂岩・泥岩)

花崗岩

500 m

2 真砂土

花崗岩が風化してできた真砂土の道。小石が多く少し滑りやすい。真砂土は雨などで流されやすいが、この辺りは緩やかな地形になっているので、流されずに残ったと考えられる。



3

ホルンフェルス

ホルンフェルスとは源岩（砂岩・泥岩）が後から熱（花崗岩）を加えられ変質したもの。本峰尾根道には足元に泥質ホルンフェルスである黒い石、道の脇には砂質ホルンフェルスの岩が転がっている。



1

龍ノ口八幡宮

北峰山頂にある、神社。受験の神様を祀っており、受験シーズンには参拝しに来る受験生も多い。

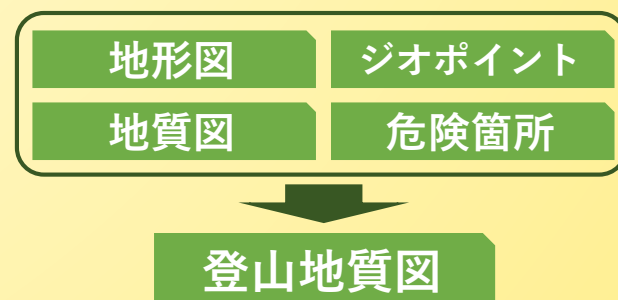


龍ノ口山 登山地質図



登山地質図とは

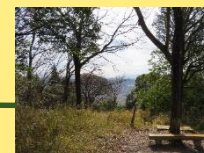
地質図とは
登山者に向けた地質図
・地質も知ることによって現地の様子をより詳しく想定できる
→危険な場所への対策が取れる
・山に登り自然を楽しむ中で地質に親しみを持ってもらおう



ジオポイント

1. 地形と地質
2. 流理構造
3. ホルンフェルス
4. 泥岩露頭
5. 砂岩露頭

6. 景色のいい場所
 - v1 南展望広場
 - v2 祠
 - v3 山頂下
 - v4 山頂広場
 - v5 神社裏
 - v6 流紋岩岩場



龍ノ口山周辺の文化

1. 龍ノ口八幡宮
2. 龍ノ口第一古墳
3. 備前国総社
4. 安養寺
5. 唐人塚古墳
6. 賞田廃寺跡
7. 湯迫浄土寺
8. 備前車塚古墳



岩石の説明

堆積岩 (砂岩泥岩)

砂や泥が堆積してできた岩石。粒が均一。

凝灰岩

火山灰が堆積して出来た岩石。

流紋岩

粘り気のある溶岩が固まって出来た白っぽい岩石。

花崗岩

流紋岩とほとんど同じ化学組成の岩石。流紋岩と違い、地下深くでゆっくり固まって出来た。

ホルンフェルス

元々あった砂岩や泥岩が後から入ってきた花崗岩に熱せられて変成したもの。

地形・地質概要

古生代 超丹波帯の付加体である堆積岩(砂岩泥岩)が堆積

中生代 和気地方の火山活動により凝灰岩が堆積また、花崗岩が元々あった堆積岩(砂岩泥岩)に熱を加え、ホルンフェルスに

中生代末 石英斑岩が貫入

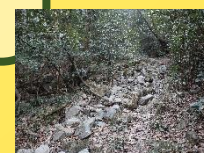
危険箇所

1. 段原凝灰岩
2. 真砂土
3. 泥岩
4. 獣用の罾
5. 道がない

泥岩は粒子が細かく密であるため水を通さない。そのため表面に水が流れ、滑りやすくなる。

途中で数m道がなくなって迷いやすい。道がない所は枯れ川を進んでいく。

獣用の罾が仕掛けられており、登山道を外れると危険。



アクセス

備前原駅から
駐車場まで 車6分・徒歩25分
賞田廃寺跡まで 車9分・徒歩37分

